

「みんなの心に輝く学校をめざして」

(調査－平成21年10月－足利市立西中学校)

この調査は学校改革のために実施しました。各質問には、『はい』(そう思う、どちらかと言えばそう思う)か、『いいえ』(そうは思わない、どちらかと言えばそうは思わない)のどちらかで答える方法をとりました。

『はい』と答えた人数を百分率で表しました。昨年の調査に関連(教職員、生徒、保護者の多くが願った6項目)するものでもあり、今回も地域の皆様に配布させていただきました。参考にさせていただければ幸いです。

1 どんな学校であると思いますか。

「そう思う」＋「どちらかと言えばそう思う」	教職員	生徒	保護者
*互いに助け合う(助け合い)学校である。	87%	80%	85%
*生徒と教師が信頼関係で結ばれている学校である。	86%	63%	70%
*明るく和(なご)やかな雰囲気がある学校である。	83%	80%	88%
*けじめのある(校則が守られる、親しみながらも礼儀正しい)学校である。	50%	58%	77%
*いじめなどがなく安心して登校できる学校である。	57%	74%	61%
*あいさつがしっかりできる学校である。	73%	89%	80%

※「互いに助け合う学校」、「明るく和やかな学校」など、肯定する割合が高いのは望ましいが、「いじめなどがなく安心して登校できる学校」と肯定する生徒は74%であり、26%はそう思っていない。生徒の回答が100%になるような学校にしたいものだ。

2 どんな教師であると思いますか。

「そう思う」＋「どちらかと言えばそう思う」	教職員	生徒	保護者
*実力(教法が上手、クラスを上手に掌握、部活の指導力など)のある教師である。	90%	79%	69%
*生徒や保護者の心が見える(勝手な見解で決めつけない)教師である。	83%	61%	63%
*信念のある教師である。	90%	79%	73%
*情熱のある(一線に泣いたり笑ったり、部活動に熱心など)教師である。	90%	77%	76%
*生徒の心に火をつける(やる気を起こさせる)教師である。	69%	60%	57%
*公平な(えこひいきをしない、生徒の悪口を言わない)教師である。	80%	65%	71%

※「未熟な教師は子どもを教える」、「円熟した教師は子どもを理解する」、「賢明な教師は師範する」、「偉大な教師は子どもの心に火を点す」と言われている。生徒の心に火をつける教師になりたいものだ。

3 どんな校長・教頭であると思いますか。

「そう思う」＋「どちらかと言えばそう思う」	教職員	生徒	保護者
*話を聞いてくれる管理者である。	93%	——	——
*ゆとりのもてる学校をつくる管理者である。	80%	——	——
*職員との信頼関係を高められる管理者である。	82%	——	——
*教職員を信頼し、任せるところは任せる管理者である。	93%	——	——
*力強く学校を引っ張る(擔加ある)管理者である。	100%	——	——
*本質を大切にする(麵酌なと、形に耽れない)管理者である。	93%	——	——

※「忙しすぎると心が失われる」、と「女性の品格(頼理藩)」に書かれていたが、ゆとりがなければ視野も狭くなる。ゆとりのもてる学校をつくることは、特に重要である。管理職だけでなく全職員の努力が必要である。

4 どんな生徒であると思いますか。

「そう思う」＋「どちらかと言えばそう思う」	教職員	生徒	保護者
*話を素直にしっかり聞く生徒である。	57%	75%	83%
*意見をしっかり言える(他人に惑わされない、自分の意がある)生徒である。	23%	62%	70%
*礼儀作法(あいさつ・返事など)ができる生徒である。	57%	86%	79%
*大きな目標をもってねばり強く努力する(向上心がある、決めたことをやりとげる)生徒である。	43%	78%	66%
*他人の気持ちを大切にする(相手の立場になって考える、他人の痛みが分かる)生徒である。	47%	70%	66%
*正直な(黠のない)生徒である。	77%	59%	72%

※国民性と言ってしまうとそれまでなのだが、外国では、意見を述べられない人は無能と受け止められてしまう。国際化と言われる時代でもあり、意見をしっかり言える生徒を育てたいものだ。

5 どんな家庭であると思いますか。

「そう思う」＋「どちらかと言えばそう思う」	教職員	生徒	保護者
* 子供の前で学校や教師の批判をしない(子どもの友達も批判しない)家庭である。	20%	78%	74%
* 家事手伝いをさせる家庭である。	53%	80%	82%
* 子供を放任しない(叱咤に叱る)家庭である。	57%	94%	97%
* 子供を他人や兄弟などと比較しない家庭である。	70%	72%	72%
* 早く家に帰りたいと思う(笑いが絶えない、親子の仲が良い、やさしさや思いやりがある)家庭である。	67%	80%	94%
* 子供の話をしっかり聞く(何でも話し合える、学校の出来事をよく知っている)家庭である。	67%	81%	89%

※青少年の問題行動に対しては、家庭の放任を指摘する声が多い。生徒も保護者も、子どもを放任しない家庭と肯定している割合が高いのは、誠に望ましいことである。

6 どんな地域であると思いますか。

「そう思う」＋「どちらかと言えばそう思う」	教職員	生徒	保護者
* 交流が盛んな明るい(あいさつが頻りに頻る)地域である。	55%	66%	65%
* 仲間意識をもってまとまれる(対立や横観がない)地域である。	52%	76%	64%
* 青少年の健全育成に関心をもつ(悪いことをしたら注意する)地域である。	66%	67%	54%
* 学校教育活動に協力を惜しまない地域である。	63%	78%	71%
* 怖いことがおきない安全な地域である。	30%	72%	59%
* きれいな地域である。	60%	72%	79%

※教職員も生徒も、そして保護者も、この地域は学校に協力を惜しまない地域と肯定している。地域性として、学校にとって誠にありがたいことである。